

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社一九八幡市物流センター	階数	地上4F
建設地	京都府八幡市美濃山古寺101番1地	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年5月6日
敷地面積	6,397 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級
建築面積	4,187 m ²	確認日	2021年5月6日
延床面積	10,653 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 松村 和行



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.2</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>環境に配慮した資源、LED照明設備や節水コマ等の採用により省エネルギーについて考慮し計画をした。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な昼光利用がされている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>できる限り緑地を設けている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=1.03、BEI_m=0.51。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=75%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される